



TEVA PHARMACEUTICAL INDUSTRIES LTD.

2008年9月24日

報道関係各位

興和、テバファーマスーティカル、ジェネリック医薬品で戦略的提携

2015年までに売上高1000億円以上を目指す新会社設立で日本市場に本格参入

興和株式会社

テバファーマスーティカル・インダストリーズ

興和株式会社(代表取締役社長 三輪芳弘、本社 愛知県名古屋市、以下 興和)とテバファーマスーティカル・インダストリーズ株式会社(社長兼 CEO シュロモ・ヤナイ、本社 イスラエル国、以下 テバ)は、日本におけるジェネリック医薬品ビジネスに本格参入するため、双方が50%を出資して新会社を設立することで本日合意に至りました。2009年初旬に操業を開始いたします。

新会社名は、「興和テバ株式会社」英表記“TEVA-KOWA PHARMA Co., Ltd.”とし、興和、テバがそれぞれ持つマーケティング・リサーチおよびR&Dにおける強みを最大限に生かし、高品質なジェネリック医薬品を広く日本の患者さまに提供してまいります。新会社は、2015年までに日本のジェネリック医薬品市場の10%に当たる売上高約1,000億円を目指し、また、日本政府が「経済財政改革の基本方針2007」で掲げている2012年までにジェネリック医薬品の数量シェアを全体の30%に引き上げる目標(医療・介護サービスの質向上・効率化プログラム)の達成に貢献してまいります。

興和の三輪芳弘社長は、「世界でトップのジェネリック医薬品企業であるテバとの今回の契約締結により、日本の患者さまに高品質なジェネリック医薬品が提供できますことを大変嬉しく思います。テバと興和との戦略的提携により、両社の強みを生かして、医療機関や患者さまからの高品質、かつ費用対効果が高いジェネリック医薬品のご要望に応じてまいります。興和は、医薬品事業において医療用医薬品・OTC 医薬品・ジェネリック医薬品で多角的な事業展開を推進し、強固な経営基盤を確立いたします。新会社では両社がそれぞれの強みを生かすことで、新しいビジネスモデルを創り、日本のジェネリック医薬品市場において確固たる地位を築いていけるものと確信しています」と述べています。

一方、テバのシュロモ・ヤナイ社長兼 CEO は、今回の提携契約のために日本を訪れ、「興和という実績ある企業と、ジェネリック医薬品においてリーダーシップとノウハウを持つテバが手を組むことによって、今後成長が見込まれる重要なマーケットでのビジネスチャンスを最大化できると考えています。私たちの目標は、5年以内に現在の2倍に成長するとされる日本のマーケットに、高品質で、リーズナブルなジェネリック医薬品を提供することです。それ

によって日本の政府目標である 2012 年までにジェネリック医薬品の数量シェア 30%の達成にわれわれの新会社が貢献していきたいと考えています。今回の戦略的提携は、テバがジェネリック医薬品業界におけるリーダーシップを強化し、また日本でプレゼンスを高めるための確固たる基盤を得たという点で、わが社の 5 ヶ年経営戦略を遂行していく上で重要な意味を持ちます」とコメントしています。

日本のジェネリック市場について

日本の医薬品市場は、世界第 2 位のマーケットで約 8 兆 3,720 億円規模と言われ、IMS と日本ジェネリック協会のデータによると、ジェネリック医薬品は、金額ベースで全体の 5.7 パーセントに過ぎず、約 4,814 億円、数量ベースでは、16.9 パーセント(いずれも 2006 年)とされています。日本政府は「経済財政改革の基本方針 2007」で、2012 年までにジェネリック医薬品の数量シェアを全体の 30%に引き上げる目標を掲げています。

興和株式会社について

1894 年に綿布問屋として名古屋市で創業し、現在では関係会社約 50 社を有するグローバル複合企業グループとして展開しています。主に繊維製品をはじめとする生活物資や機械・建材・化学品等の販売を行う商事部門と、医療用医薬品・一般用医薬品(OTC 医薬品)・ヘルスケア商品・電機光学機器・情報通信機器等の製造販売を行うメーカー部門において、積極的な事業活動を展開しています。医療用医薬品事業につきましては、高コレステロール血症治療剤「リバロ錠」、血圧降下剤「オルメテック錠」を中心とする代謝・循環器領域において、子会社の興和創薬株式会社を通じてプロモーションに注力しています。研究開発面では生活習慣病(動脈硬化・腎疾患・糖尿病)を重点領域の一つに掲げています。一般用医薬品(OTC 医薬品)・ヘルスケア商品事業につきましては、子会社の興和新薬株式会社がコンディショニング メディケーションとクイック メディケーションという考え方のもとで、「キャベジューワ」、「バンテリニューワ」、「キューピーコーワ」などの OTC 医薬品を提供することで生活者の健康の維持と管理に役立てていただいております。

資本金 3,840 百万円、売上高 2,214 億円(2007 年度連結)、総従業員数 4,432 名(2008 年 3 月末現在 連結)。詳細は、ウェブサイト(<http://www.kowa.co.jp>)をご覧ください。

テバファーマスーティカル・インダストリーズについて

イスラエルに本社を置くテバファーマスーティカル・インダストリーズは世界トップ 20 位に入る製薬メーカーで、特にジェネリック医薬品分野では、世界第一位の企業です。新薬、ジェネリック医薬品、製薬原材料の開発、製造、販売、及び、動物向けの製薬品も扱っており、その売り上げの 80 パーセント以上は北米と欧州から得ています。

本リリースに関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

リリース問い合わせ先

興和株式会社 広報部 担当 山田・加地

Tel:03-3279-7005 /Fax 03-3279-7250

テバファーマスーティカル・インダストリーズ株式会社

広報代行 株式会社プラップジャパン 馬場・蔵持

Tel: 03-3486-2931 Fax: 03-3486-6531

Safe Harbor Statement under the U. S. Private Securities Litigation Reform Act of 1995:

This release contains forward-looking statements, which express the current beliefs and expectations of management. Such statements are based on management's current beliefs and expectations and involve a number of known and unknown risks and uncertainties that could cause our future results, performance or achievements to differ significantly from the results, performance or achievements expressed or implied by such forward-looking statements. Important factors that could cause or contribute to such differences include risks relating to: our ability to successfully develop and commercialize additional pharmaceutical products, the introduction of competing generic equivalents, the extent to which we may obtain U.S. market exclusivity for certain of our new generic products and regulatory changes that may prevent us from utilizing exclusivity periods, competition from brand-name companies that are under increased pressure to counter generic products or competitors that seek to delay the introduction of generic products, the impact of consolidation of our distributors and customers, potential liability for sales of generic products prior to a final resolution of outstanding patent litigation, including that relating to the generic versions of Allegra® , Neurontin®, Lotrel® and Protonix®, the effects of competition on our innovative products, especially Copaxone® sales, the impact of pharmaceutical industry regulation and pending legislation that could affect the pharmaceutical industry, the difficulty of predicting U.S. Food and Drug Administration, European Medicines Agency and other regulatory authority approvals, the regulatory environment and changes in the health policies and structures of various countries, our ability to achieve expected results through our innovative R&D efforts, our ability to successfully identify, consummate and integrate acquisitions, including the pending acquisition of Barr Pharmaceuticals Inc., potential exposure to product liability claims to the extent not covered by insurance, dependence on the effectiveness of our patents and other protections for innovative products, significant operations worldwide that may be adversely affected by terrorism, political or economical instability or major hostilities, supply interruptions or delays that could result from the complex manufacturing of our products and our global supply chain, environmental risks, fluctuations in currency, exchange and interest rates, and other factors that are discussed in this report and in our other filings with the U.S. Securities and Exchange Commission ("SEC").